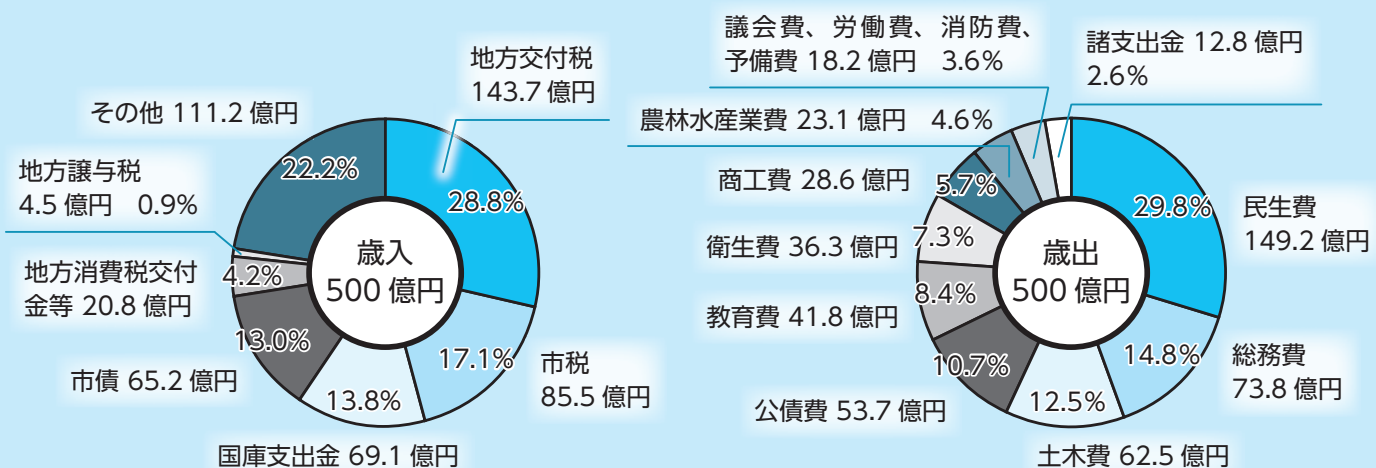


一般会計予算の概要



歳入	歳出		
地方交付税 国（国税など）からの交付金	民生費 児童・高齢者・障がい者福祉、生活保護など	公債費 借入金の元金と利子の返済	商工費 商工業の発展、観光の振興など
市税 市民税、固定資産税など	総務費 住民票の発行などの一般的な事務	教育費 小・中学校教育、生涯学習など	農林水産業費 農業・林業・畜産の振興など
国庫支出金 使い道を特定された国からの補助金など	土木費 道路・公園・市営住宅の整備、除排雪など	衛生費 ごみ処理、健康診断など	議会費、労働費、消防費、予備費 議会運営、消防負担金など
市債 長期的な借入金			

令和2年度 市政方針と予算

予算総額 923 億 7,500 万円
 一般会計 500 億円
 特別会計 210 億 5,700 万円
 企業会計 213 億 1,800 万円

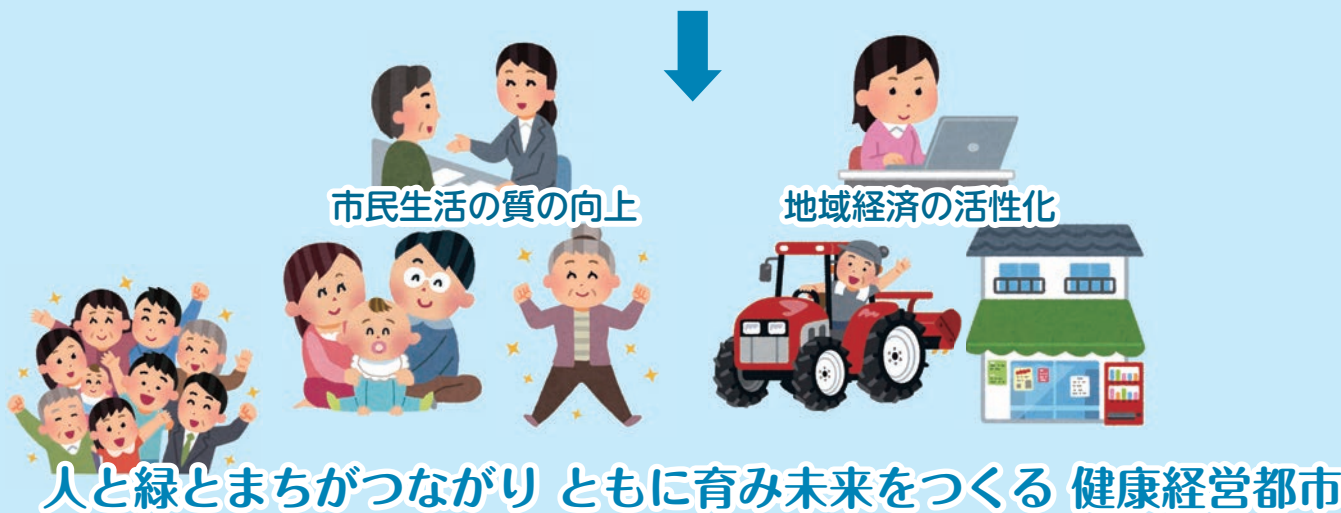
まちづくりは次のステージへ

3月2日から市議会定例会が開かれ、松野市長が令和2年度の市政運営の基本姿勢となる市政方針を示しました。
 その市政方針と総合計画に掲げた6つの分野に位置付けた事業の主な内容を紹介いたします。

新型コロナウイルス感染症予防のため、マスクを着用し答弁を行う松野市長

令和2年度予算 重点分野の取り組み

- 防災・防犯・地域コミュニティ
地域で支え合う 安全・安心なまち
- 子ども・子育て・教育・文化
豊かな心と生きる力をはぐくむまち
- 健康・福祉・医療
みんなが健康で元気に暮らせるまち
- 都市基盤・環境
自然と調和した 快適で暮らしやすいまち
- 産業経済・交流
活力と賑わいに満ちた 魅力あふれるまち
- 市民参画・行財政運営
市民とともに創る 持続可能で自立したまち



新たなスタートライン

市は、人口減少と少子高齢化という課題に対し、「岩見沢市総合戦略」に掲げた施策・事業を着実に進めており、社会動態の改善や年少人口の転入増といった明るい兆しが現れてきています。

その成果をより確かなものとするため、新たに策定した「第2期岩見沢市総合戦略」に基づき、地方創生の新たなスタートラインに立ち、取り組みをさらに加速していきます。

地方創生の実現には、人口減少の抑制だけでなく、新しい価値やイノベーションを創出し、人口が減少する中でも成長の可能性を高めていくとともに、効率的な地域経営を推進していくことが重要です。

特に、ロボット技術やAIなどの活用は、さまざまな分野で生産性や効率性、利便性を飛躍的に高めるものであり、その大きな鍵となる「ソサエティ5.0」の到来を見据え、より一層豊かで魅力ある地域づくりに取り組んでいく必要があります。

市は、世界トップレベルのスマート農業と、持続可能なスマートアグリシティの実現を目指しています。こうした取り組みを通じて、岩見沢市の地方創生の実現はもとより、その成果を全国に波及させることも可能であると考えています。

市民の役に立つ所

能であると考えています。社会が目まぐるしく変化していく中で、過去の経験則で問題を解決することが難しくなり、「人生100年時代」に向けた新たな社会設計も重要となっています。

そのような不確実な時代でも、当面の課題にしっかりと取り組みながら、総合計画や総合戦略に基づき、未来のあるべき姿を見据え、時代の変化にも的確に対応しながら、オール岩見沢、チーム岩見沢で、次世代につなげる持続可能なまちづくりに全力で取り組んでいきます。

これからも、徹底した現場主義のもと、市民の声を大切にしながら、市民本位の市政、開かれた市政の実現に努めます。

また、新庁舎の建設が本格的に始まりましたが、市役所は建てて終わりではなく、いかに「市民の役に立つ所」であり続けるかが重要です。令和4年1月の供用開始に向け、利便性と機能性を十分に備えた市役所にしていきます。そのためには、市民の皆さんのために仕事をするという基本を職員とともに再認識し、市役所のレベルアップと市政のネクストステージを目指して、市役所改革に取り組んでいきます。

重点分野の取り組みの

防災・防犯・地域コミュニティ 地域で支え合う 安全・安心なまち

地域防災力の向上

防災対策事業 3,972 万円

被災者生活再建システムの導入

災害により生活基盤に著しい被害を受けた市民が早期に生活再建ができるよう、罹災証明の発行を速やかに行うためのシステムを導入します。



総合的な雪対策の推進

高齢者・障がい者の冬の暮らし支援事業 4,109 万円

冬の暮らしの安全・安心の確保

町会・自治会などが行う除雪ボランティアへの支援、高齢者世帯などの雪下ろしや間口除雪、定期排雪の費用の助成など、冬の暮らしの安全・安心の確保を図ります。



健康・福祉・医療 みんなが健康で元気に暮らせるまち

健康づくりの推進

健康経営都市推進事業 2,648 万円

健康経営都市の推進

産学官金の連携のもと、生活・健康づくりのサービスを提供するための基盤構築をはじめ、岩見沢市版「健康白書」の作成や健康づくりの絵本の制作など、健康経営都市を推進します。



障がい者福祉の充実

障害者文化芸術活動支援事業 1,168 万円

2020 アール・ブリュット芸術祭

アール・ブリュット作品の展示や舞台芸術の発表、国際研究フォーラムなど、芸術を通して障がいへの理解を深め、共生のまちづくりを推進します。



産業経済・交流 活力と賑わいに満ちた 魅力あふれるまち

商工業の振興と中心市街地の活性化

プレミアム付建設券発行支援事業 6,500 万円

プレミアム付建設券

プレミアム付建設券を発行する経済団体や建設業団体などに対し、事業費の一部を支援し、地域経済の好循環を促進します。



農林業の振興

ICT 農業普及促進事業 650 万円

スマート農業の普及促進

先行的な取り組み成果の社会実装に向け、技術研修などの普及啓発活動や、ドローンなどの新技術導入に関する効果・経済分析を実施します。



一部を紹介します

子ども・子育て・教育・文化 豊かな心と生きる力をはぐくむまち

子ども・子育て支援の充実

保育・教育人材確保事業 300 万円

保育士・幼稚園教諭の確保

新規学卒の保育士・幼稚園教諭に対して就職準備金を支給し、人材の確保と幼児教育・保育の質の維持向上を図ります。

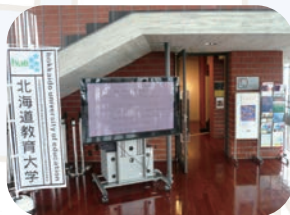


芸術文化・スポーツの振興

教育大学連携事業 300 万円

学生と市民との交流機会の拡大

i-BOX（北海道教育大学岩見沢校 BOX）の運営をはじめ、美術展やコンサート、スポーツ交流などを通じ、学生と市民の関わりを深め、まちの活性化につなげます。



都市基盤・環境 自然と調和した 快適で暮らしやすいまち

魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成

民間住宅耐震改修等助成事業 456 万円

建て替えに伴う除却費の一部助成

旧耐震基準で建設された木造住宅を対象としてきた耐震改修の費用の一部助成に、倒壊の危険性の高い住宅の現地建て替えも加え、居住環境の安全の向上を図ります。



地域情報化の推進

ICT 活用型総合戦略推進事業 6,000 万円

ICT 基盤のさらなる活用

生活の質の向上や地域経済の活性化に寄与する利活用機能の社会実装と社会基盤の最適化に向けた取り組みを連動させながら、Society5.0 に対応した社会形成を目指します。



市民参画・行財政運営 市民とともに創る 持続可能で自立したまち

持続可能な行財政基盤の確立

保育所入所運営事業ほか 1,608 万円

スマートシティの実現に向けた取り組み

少子高齢化や人口が減少しても持続可能な社会構築を目指すため、市民サービスの利便性向上や人的・財政的負担の軽減を図り、スマートシティの実現に向けた取り組みを進めます。



持続可能な行財政基盤の確立

市庁舎建設事業 20 億円

市庁舎の建設

防災拠点としての機能を備えた新庁舎の建設を令和3年11月の完成に向けて進めます。



市は、人と緑とまちがつながり、ともに育み未来をつくる健康経営都市のの実現に向けて、重点分野として定めた6項目を柱に、第6期岩見沢市総合計画や第2期岩見沢市総合戦略などに基づく施策を着実に推進し、持続可能で自立した地域経営の確立を目指して取り組みを進めていきます。

問合せ先 市企画室

YouTubeで
市議会の様子



市ホームページで

市政方針



予算概要・重点
分野の取り組み



予算は、27事業、12億9千623万円を計上しました。厳しい財政環境の中、財政調整基金から9億7千万円を繰り入れますが、持続可能で自立した行財政基盤の確立に十分留意し、重点的に取り組む分野をはじめ、施策全般にわたりの確に対応する積極的な予算を編成しました。

令和2年度の予算は、選択と集中の視点に立ち、必要な事務事業の新設、既存の事務事業の見直しや再構築を行い、各事業の相乗効果による好循環の拡大を図ります。特に、新たなステップへと踏み出す第2期岩見沢市総合戦略に基づく事業展開など、市民生活の質や地域活力をさらに高める取り組みに対し、予算を重点的に配分しました。その結果、一般会計の総額は500億円、前年度比0.4%の減、特別会計と企業会計を合わせた全会計の総額は92億7千500万円、前年度比0.3%の増となりました。なお、令和2年度総合戦略事業

用語解説

- ❖ i-BOX（北海道教育大学岩見沢校 BOX）
北海道教育大学岩見沢校と岩見沢市が連携して有明交流プラザ内に開設した、市民と学生の活動情報拠点
- ❖ アール・ブリュット
美術教育を受けていない人などが、既成の表現法にとらわれず自由に制作した生の芸術
- ❖ スマートシティ
ICT 技術などを活用し、生産性や生活の質の向上を図り、都市機能の高度化を目指す都市